



市政をズバリ問う!

一般質問

本定例会での一般質問は、9月14日から16日までの3日間行われ、11人の議員が質問しました。

その質問と答弁の要旨をお知らせします。

原稿は議員本人によるものです。

第四次行政改革は大丈夫か

問 第四次行革が16年度から5カ年計画でスタートしているが、責任と成果が問える改革になっているのか。

市長 第三次行革で、約15億円の行政コスト削減を果たしている。更に行政評価システムを導入し、その構築をしていきたい。

市長公室参事 調査検討委員会で公的ガイドラインを策定し、指定管理者、保育所、老人ホーム、学校給食、事務部門の5つの検討部会を立ち上げ検討を進めている。

臨時職員採用条件の改善を

問 臨時職員採用は、人手不足解消の間に合わせの考え方でなく、条件の改善を図り能力のある人を採用すべきであると思うが。

市長公室長 雇用形態も多様化してきており、例えば5年間位関係するような

仕事が発生した場合、その期間採用できる任用制度の導入を検討したい。

問 市内の企業で臨時職員の募集をしたら、仕事の意欲も旺盛で、正規職員より優秀な人達が入ってきた。それも安い給与で雇用でき驚いたとの採用担当者の声がある。今後は正規職員より優秀な臨時職員の活用を考えて欲しい。

市役所内の売店の運営はどうなっているか

問 今、庁内の売店はどこが運営しているのか。

会計課長 職員互助会が福利厚生の一環として無料で使用している。

問 市立病院内の売店は民営化され、テナント料を市は貰っているが、市役所内の売店は年間税金を売店運営負担金400万円ほど予算化しているがどういふことか。増税を迫られる市民の目で、市と職員互助会の関係を見直してほしい。

中富 正徳
議員



庁舎内にある売店